

平成30年度 市史資料收藏品展

懐かしの「めんこ」展



平成31年3月2日(土)~31日(日) 月曜日休館

碧南市藤井達吉現代美術館 地下1階 展示室4 <入場無料>

主催：碧南市教育委員会

所管：碧南市文化財課・市史資料調査室

市史資料収蔵品展

懐かしの「めんこ」展

平成31年3月2日(土)～31日(日)

平成が間もなく終わろうとしています。平成の終わりに伴い、昭和という時代がよりノスタルジックな響きを持って感じられるようになるのではないのでしょうか。昭和の男の子たちの代表的な遊びに「めんこ」があります。昭和の終わりにはコンピューターゲームの登場により、「めんこ」で遊ぶ子どもたちは減少し、平成に入ると「めんこ」は消えてしまいます。ですから、30歳後半の方が「めんこ」で遊んだことのある最後の世代ではないのでしょうか。

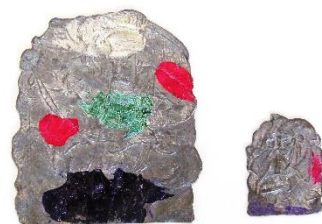
「めんこ」のルーツは平安時代までさかのぼると言われています。貴族が行った意銭(ぜにうち)と呼ばれる、地面に置いた銭に離れた場所から持っている銭を投げて、当てたらその銭がもらえるという賭け事のような遊びがルーツと言われています。

そんな遊びが皆さんの知っている「めんこ」遊びになるまでは、「絵銭(えぜに)」と呼ばれる玩具用の銭が使われ、その後、土を焼いて作った「泥面子(どろめんこ)」、鉛を使った「鉛面子(なまりめんこ)」と姿を変え、皆さんが知っている紙の「めんこ」へとなっていきます。

収蔵品の他、「絵銭」「泥面子」「鉛面子」も展示し、「めんこ」の歴史を解説するとともに、昭和の「めんこ」を通して、子どもたちを夢中にしていた映画、テレビ、マンガの主人公や野球や相撲などを紹介し、昭和の時代を振り返ってみたいと思います。



泥面子 (どろめんこ)



鉛面子 (なまりめんこ)



明治時代のめんこ



長谷川一夫



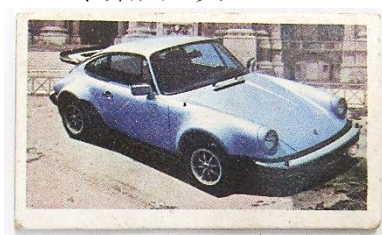
月光仮面



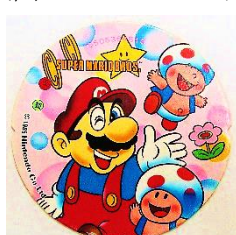
おそ松くん



仮面ライダー



スーパーカー
(ボルシェ・ターボ)



スーパーマリオ

**めんこで遊べる
コーナーあります。
是非、お越しください!**